



赤磐市はどのように変わるのか

去る 3/23 の市長選・市議選で予想を超える新旧交代がありました。興が冷めないうちに個人的な感想を記します。今回の選挙結果が十分反映されないままに年月が過ぎてしまうかもしれないと、偏見を承知で思うままを述べますが、老爺の呟きですから読み流されて結構です。

岡山県は自然環境に恵まれ、鉄道や道路が発達して住みよいのですが、**赤磐市**に目を凝らせばインフラの歪が目立ちます。警察や高校も大事ですが、山陽団地の老朽や、赤坂中心部・町苅田を通り抜ける県道の不備、桜が丘では中央未利用地と周辺保安林の放置が問題です。市役所前の特定郵便局に ATM がない、付近にコンビニもない、本庁舎が整備されて少しは便利になるかと思いましたが相変わらず、誰も言わないのが不思議です。拙稿「赤磐市はこのままでよいのか」の 2 篇で指摘したように課題が山積しています。殊にごみ処理については、基本計画が甘かったからではないかと見ています。

様々な問題は行政の怠慢か、判断ミスによるものです。根底に、自分で考えるよりもコンサルに頼る習性があるように思います。当市には学者や実務経験を積んだその道のエキスパートが居るのに「住民の言うことは素人の考えだから・・・」と上層部が指示しているようにさえ思えるのです。上司が「オレが責任とるから、お前たちは思うようにやってみろ」と、思い切った提案には職場全員が問題を共有し、必要なら外部の考えも取り入れる度量がなければなりません。今話題の拠点整備がどれほど検討されて来たのか、山陽 IC が開通してから 30 年も経つのに、外資（外敵？）コストコが現れて慌てふためいてるではありませんか。地産地消が万事の基本です。

市長選の結果：3 期続けた前市長は土木工学を専攻した工博で都市計画などに手腕を期待しましたが、目立った成果がないばかりか、重要課題のごみ処理最終処分場建設が未着手のまです。

26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

前副市長だった**次期市長**は行政通のベテランと見られ、今後を期待しています。トップに立つ人が確かな理念と実行力を持ち、職員だけでなく市民からも慕われる人望を期待しています。選挙チラシで約束された「**12 年間放置されたゴミの最終処分場の建設は急務です。・・・ゴミ処理の原則である自区内処理の原点に戻ります。**」が一番の朗報です。

市議選の結果：定員 18 名でうち 5 人が新旧交代、新人の 2 人が 40 歳で多くの市民が驚いたと思います。概して保守的な当地で注目すべき結果に違いありません。次に、縁あって私が支援した新人について述べます。

横山裕太：40 歳 福島県出身 東京で企業勤務を経て、3 年前に当地中山間域に移住 移動スーパーで生計を立てながら赤磐市議選に出馬、上から 2 位 1713 票（3 位と 421 票差）を得て当選

今から考えると上位当選にはそれなりの訳があったのですが、何より彼の志、他人を惹きつける人柄、更に一途な努力です。ドイツの森勤務以来 30 年の親しい仲間によれば、吉井再生のために若者をとムラをあげて応援し予想範囲だった由。山間の 3 年では孤立無援と思っていたのが、地元で 50 代の頼もしい仲間が選挙スタッフとして実務を支えました。北の横山裕太、南（熊山）の行本大輔、2 人の 40 歳が議会に新しい風を吹き込む期待が膨らんでいます。移動スーパーのチラシを読んでわかったのは、オーガニック食品が売り、赤磐市を中心に日生・津山・岡山市東区まで広範囲に、スケジュールを公表して営業、組織がなければできないことで彼はその代表です。個人演説会で質問に答えて移動スーパーを今後も続けると話しましたが、住民の暮らしを知り話を聞くことが議員活動に資すると考えているようです。

当選後**市議会**で彼のこれからが気になって、応援仲間と本人をまじえて相談しましたが、年寄り連中の思い過ごしでした。自分達よりも遥かに確りして「議会に臨むのはこれからです」と言わんばかり、先輩議員へのリスペクト、議会で自己の存在感、政治的立場などアドバイスするものがありません。支持基盤の地元だけでなく、団地にも議会報告などの心構えを感じて頼もしく思いました。私自身も薄れかけていた自治への関心が蘇った気がしています。

・ ・ これからの赤磐市は ・ ・

視野を変える：旧瀬戸町が岡山市になったのは残念ですが、JR 瀬戸駅が地域交通の要である現実を無視できません。商工会や医師会に倣って、行政も枠をこえて密な連携があつて然るべきです。警察署や県立高校が市内に無くても構わない、地政学の視点に立って若い世代は考え直すべきだと思っています。

- ・ 瀬戸駅周辺が旧来の入り組んだ街区のために路線バスの運行に余分な時間がかかっています。地元住民が無関心でもバス利用の赤磐市民には無視できません。県道 1 号線と瀬戸駅の間がすっきりすれば、瀬戸駅路線のバスダイヤが改善されるだけでなく、瀬戸町のイメージが一新します。当市の行政は他所事と思つてるに違いありませんが、枠を越えて解決すべき課題です。
- ・ 両市間の分水嶺を赤磐市側は磐山～観音山と名付けて かつての里山を復元しつつありますが、岡山市瀬戸町側とは一部の人を別にして殆ど交流がありません。野生動植物の観察やハイキングコースの設定・整備に境界はありません。
- ・ 山火事への対処が切実ですが、防災連携がどうなっているのかなど気がかりです。
- ・ 官民ともに相手が政令指定都市でも その末端との偏見がありませんか。隣人の ^{よしみ} 誼 を大事にしなければなりません。

市役所職員の意識改革：平成大合併まで町レベルでの部制は山陽町と真備町（現倉敷市）だけだったためか、旧山陽町職員は周辺の町よりも偉かったらしく、今もその意識が抜け切れていないように思いますが誤解でしょうか。公務員の矜持は当然、公僕を意識して住民に接してもらいたいと思います。企業従業員は自らに課した目標に向かって励みますが、巷では公務員を“お日さま西々”と揶揄する人がいます。昔話だったらよいのですが。当市も目標管理と提案制度などを導入し、役職に応じた職務に励まれるように望みます。

大事なことは市民参加で： 広報誌でパブリックコメントを求めているからと担当者は思っているかもしれませんが、窓口で閲覧するか ホームページを覗かなければなりません。現役世代は多忙、高齢者は外出しにくい PC を持たないなどで、拠点開発についても**市議会だより**で知るだけ、具体化したときには遅かったとなります。中央公民館で公聴会があつても、時間が十分でなく質疑応答が限られて 不満が残ります。新しいプロジェクトの場合は初期段階から計画をオープンにして広報してもらいたいのです。

中心市街地を蘇らせる：市役所前の広大な企業工場を近くの工業団地に移して、ここを緑豊かな市民広場にすることを提案します。山陽団地から近く 新旧県道に挟まれた立地を活かして、様々なイベントに、憩いの場に、世代と地域を越えて多くの市民が集うことができる赤磐市の“核”になります。夢でなく、実現すべき願望です。

これは新市長と議員諸氏へのお願いでもあります。

（おわり）

以上、4 年ぶりの選挙の結果について 私なりの拙い所感です。

ご一読いただき、何なりとご批判、ご感想を賜ることができれば有難く存じます。

2025. 4. 6

中西 卓

赤磐市桜が丘西 8-25-8

Tel: 086-608-1321 E mail: naktak@sky.megaegg.ne.jp